

のこさい

議会だより

No. 171

9月定例会

平成27年10月31日発行

「議会だより」は、あなたと議会を結ぶ情報誌です。

- 2 | 平成26年度各会計決算を認定
- 7 | そこが聞きたい!!一般質問

平成26年度各会計決算を認定

22議案を可決

一般会計補正予算1議案を否決

◆議案・請願一覧◆

議案番号	内容
57	湖西市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
58	湖西市ふるさと応援基金条例制定について
59	湖西市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
60	湖西市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
61	湖西市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
62	湖西市子育て支援条例の一部を改正する条例制定について
63	湖西市営住宅設置条例及び湖西市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
64	市道の路線の認定について
65	平成27年度湖西市一般会計補正予算(第2号)計補正予算(第1号)
66	平成27年度湖西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
67	平成27年度湖西市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
68	平成27年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

平成26年度各会計決算

(単位:円)

会計区分	決算額		
	歳入	歳出	
一般会計	23,928,626,300	22,612,342,695	
特別会計	国民健康保険事業	6,172,578,220	5,774,016,330
	介護保険事業	3,598,126,863	3,512,710,834
	後期高齢者医療事業	530,299,918	528,810,103
	公共下水道事業	1,818,959,091	1,792,422,508
企業会計	水道事業	収益的収入 1,290,457,480	収益的支出 1,132,575,018
		資本的収入 15,209,000	資本的支出 470,635,155
	病院事業	収益的収入 3,233,044,029	収益的支出 3,644,643,476
		資本的収入 274,741,258	資本的支出 459,044,313

平成26年度各会計決算を認定

議案第70号～76号

◆議会の概要

〔8月31日〕9月定例会が招集され、開議に先立ち、損害賠償の額の決定及び和解について及び平成26年度湖西市財政指標の計2件について報告を受けた。開議後、会期を9月30日まで31日間と決め、市長提出20議案のうち、人事案件1議案を同意し、その他の議案について説明を受けた。そのうち平成26年度一般会計決算については、決算特別委員会に付託した。また、請願1件について紹介議員の説明を受け、総務経済委員会に付託した。

〔9月8日〕5人の議員が一般質問を行った。

〔9月9日〕4人の議員が一般質問を行った。

〔9月10日〕4人の議員が一般質問を行った。

〔9月11日〕議案に対する質疑を行い、補正予算1議案を否決、その他10議案を原案のとおり可決し、条例の制定及び平成26年度各会計決算を各常任委員会に付託した。また、総務経済委員会に付託した請願1件の委員長報告を行い、不採択とした。その後、議会運営委員会から追加提出された規則の改正1議案を可決した。

〔9月30日〕常任委員会・特別委員会に付託した条例の制定及び平成26年度各会計決算の計8議案の委員長報告を行い、可決・認定した。その後、議員から提出された決議案1議案、市長から追加提出された一般会計補正予算1議案を可決し、9月定例会を終了した。

平成26年度一般会計決算・特別会計・企業会計の決算審査を行い、認定した。なお、一般会計決算審査については、決算特別委員会を設置・付託し、2日間にわたり審査を行った。

委員長 ● 神谷里枝

副委員長 ● 中村博行

委員 ● 福永桂子 菅沼 淳
土屋和幸 高柳達弥 楠 浩幸
佐原佳美 渡辺 貢 吉田建二
加藤弘己 竹内祐子 荻野利明
豊田一仁 島田正次 馬場 衛

また、国民健康保険・後期高齢者医療事業決算については総務経済委員会に、介護保険・病院事業決算については福祉教育委員会に、公共下水道・水道事業決算について

ては建設環境委員会に付託し、審査を行った。

決算特別委員会の審査

〔歳入〕

問 市税滞納者への臨戸訪問を実施した効果はどうであったか。

答 7月から9月の間に271名を訪問し23件、約90万円の現金徴収をした。臨戸訪問の他、電話や文書による催告、約束事項の履行監視などを行ったことにより、臨戸対象者の滞納総額2,151万円のうち約56%にあたる約1,200万円が納付された。



審議結果については、議案第65号は否決。その他議案は原案可決（人事案件の「同意」を含む）した。また、請願第1号は不採択とした。
賛否の分かれた議案などについてはP6を参照。

願号 請番	内容
1	安全保障関連法案に対する慎重な審議を求める請願書
79	市長の施政遂行姿勢に関する決議案
78	平成27年度湖西市一般会計補正予算(第3号)
77	湖西市議会会議規則の一部を改正する規則制定について
76	平成26年度湖西市病院事業会計資本剰余金の処分及び決算の認定について
75	平成26年度湖西市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
74	平成26年度湖西市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
73	平成26年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
72	平成26年度湖西市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
71	平成26年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
70	平成26年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について
69	平成27年度湖西市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

問 がんばる地域交付金の趣旨と、充当事業の概要は。

答 国がアベノミクス効果を全国へ波及させるため、景気回復が波及していない市町村が行う地域活性化に向けた事業に対して交付されるものである。充当事業は、早急に行う必要が生じた白須賀公民館の解体事業に充てた。

問 コーちゃんバスについての市民の声をどう受け止めているか。

答 市民の声を真摯に受け止め、限られた財源のなか、利用促進のためのルートの見直しや、バス乗り方教室の実施などを通してPRに努めていく。

問 公会堂などの建設・修繕要望に対する実施率は。

答 平成26年度は前年度に提出された要望すべてに対応した。また緊急対策費として追加要

問 望のあった修繕や備品購入にも対応した。

答 湖西市市民会館の使用停止により地域センターの利用者が増えたが、利用状況と施設整備に問題はなかったか。

問 市民会館使用停止前の平成24年度の利用状況は、1,596件、30,348人であったが、平成26年度は2,927件、57,237人と増加した。地域センターは老朽化しており、修繕費が当初予算では不足したが補正予算で対応できた。今後も修繕費の増加が予想されるが、必要な修繕を行いながら活用していきたいと考える。

問 家庭児童相談件数918件の内訳は。

答 主なものは、虐待454件、環境福祉134件、家庭環境その他114件、登校拒否52件、非行51件である。

問 新居斎場の利用が重なった場合、駐車場の利用に問題はなかったか。

答 平成26年度は、お通夜で46日、葬儀で3日駐車場が満車となったが、係員を配置し、誘導を行ったため問題は生じなかった。また、地域からの苦情も無かった。

問 大気測定場の場所の選定、実施回数は十分なものであったか。また測定結果の活用方法は。

答 測定場所は、市役所と境宿の2箇所を定点観測している。県の指導の下、ダイオキシン類対策特別措置法の常時監視に関する事務の処理基準に基づいて年2回実施しているため、適正であると考え。境宿の測定結果については、豊橋市と地元自治会へ情報提供を行っている。

問 シルバー人材センターへの補助金の算出根拠は。また、依頼に対する受注状況

と、主な活動内容について説明を。

湖西市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱に基づき、人件費、一般運営費、事業費を予算の範囲内で交付している。受注件数は2、276件あり、件数の多い順に、庭木の剪定、除草作業、清掃が主な内容となっている。

問 道の駅の事業成果として

観光客を市内へどの程度引き込んでいるか。

答 数値として計測したデータ

はないが、観光パンフレットやイベントチラシを道の駅に設置しており、市内への誘導に努めている。

問 「わが家の専門家診断事業」で耐震補強工事につな

がった比率の評価は。

答 診断を行ったほとんどの家

屋が要改善診断であったが、耐震補強工事につながったのは14・3%にとどまっている。

る。診断から補強計画・補強工事へと進むよう戸別訪問やダイレクトメール送付など推進を図っている。

問 一人暮らし高齢者宅防火

診断の実施内容・実施率と今後の計画は。

答 日常の健康状態や喫煙習慣、

災害発生時の避難方法や緊急時の連絡先を調査し、住宅用火災報知器の普及推進を指導している。70歳以上の一人暮らし世帯で希望する347世帯のうち85・3%の296世帯に対して実施した。今後も継続して実施する予定である。

問 成人式開催事業の課題は。

答 新成人自身が企画委員として

内容を検討しながら式を企画・運営していることから、参加者からは高い満足度を得ているが、委員の募集に対して応募が少ないことが課題である。



議案第58号

湖西市ふるさと応援基金を設立

「湖西市ふるさと応援基金条例」を全員賛成により可決した。この条例は、湖西市をふるさととして応援する方々から寄附された、湖西市応援寄附金（ふるさと納税）を基金として適正に管理し、運用するとともに、適切な事業に充てるためのものであった。

◆委員会での質疑◆

問 基金の積立金の管理方法や計画は。

答 寄附者の方には、ふるさと納税をしていただく際に、

どのような事業に使ってほしいのかを7つの用途の中から選択していただいていることから、基金の中で使途ごとに分類して管理する。この基金は、他の目的基金とは違い、寄附者の思いを早く反映させるため、当該年度の寄附金は貯めておくのではなく、翌年度予算化をして、それぞれ使途事業

へ充当していく考えである。

議案第65号

一般会計補正予算(第2号)を否決

平成27年度一般会計補正予算(第2号)を賛成少数により否決した。

この補正の内容は、ふるさと納税関連経費や個人番号制度導入のための準備経費、市長の政策に関する助言・提言を求めるための政策顧問設置にかかる報酬及び費用弁償などを含む総額2億125万9千円を増額するものであった。

◆本会議での質疑◆

問 なぜこの時期に政策顧問

を設置するのか、理由及び目的は。市の有能な職員を活用すれば良いのではないか。

答 平成27年度は国から地方

創生について示されている重要な年であることから、少しでも早い設置を考えてこの時期となった。目的は福祉

や病院の分野での助言をもらうこと、大所高所からのアドバイスをいただくこと、陳情や誘致活動において力を発揮してもらうことである。内部の職員とは違う立場、違う能力でサポートをしてほしいため、行政と政治の両方に明るく、職員とは違う能力を有する方を政策顧問としたいと考えた。

本会議での討論

反対

- ・分散していた個人情報容易に収集される恐れのある個人番号制度整備のための予算措置がされており問題と考える。
- ・政策顧問を置かなくても優秀な職員の能力を引き出し、いけば問題は解決できる。
- ・議会からは市長への政策提言などをする組織として、自治体シンクタンクの設置を平成26年度に提言している。年度当初ではなく、この時期に唐突に政策顧問を

設置することは理解できない。

- ・政策顧問設置について目的・緊急性・成果の確認の方法などを確認したが、補正予算として計上する必要性が感じられない。

- ・政策顧問の設置について、事前の幹部職員との協議も不十分のまま、市長の独断で進められており認められない。

- ・市長の残任期間が1年余りとなっているこの時期に政策顧問を設置することは、市民の理解が得られるとは思えない。

賛成

- ・政策顧問の設置について、提案の時期に疑問を感じる点もあるが、病院の問題など課題解決のためにという市長の考えを尊重したい。
- ・知識や経験の豊富な、人脈のある人材を登用することは地方創生の流れに乗り遅れないためにも有効であると考える。

議案第78号

一般会計補正予算(第3号)を可決

平成27年度一般会計補正予算(第3号)を全員賛成により可決した。

今回の補正により、予算額は2億82万5千円増額し、総額は207億5,625万1千円となった。

人事案件(議案第57号)

◆人権擁護委員

任期満了となる柴田隆夫氏の後任として河合禎隆氏(大知波)を推薦することに同意した。

請願第1号

安全保障関連法案に対する慎重な審議を求める請願を不採択

今9月定例会においては、「安全保障関連法案に対する慎重な審議を求める請願書」が

提出され、総務経済委員会へ付託し、委員長報告の後、賛成少数にて不採択とした。この請願は、①国民の十分な理解が得られるように説明責任を果たすこと、②丁寧かつ慎重な審議を尽くすこと、という2項目について国への意見書提出を求めた。

【不採択とした理由】

意見書を出すことは、今の国会の審議が十分ではないという意思を示すことになる。法案に対して反対の意見も聞かれるが、国会では慎重かつ丁寧に審議されている。市議会としては、その成り行きを見守るべき。

議案第79号

市長の施政遂行姿勢に関する決議を可決

議員提出による「市長の施政遂行姿勢に関する決議案」を賛成多数により可決し、次の内容を市長宛に提出した。

市長の施政遂行姿勢に関する決議

地方議会は、二元代表制の下、地方公共団体の事務執行の監視機能、政策提言及び政策立案機能を発揮しながら、日本国憲法に定める地方自治の本旨の実現を目指し、地方自治法に定められた権限を適正に行使することが求められている。

湖西市議会は、「市民が主役で、活発な議論をする、見える議会」を自らの指針と定め、市民の多様な要望や社会変化に柔軟に対応し、湖西市議会基本条例による責任遂行と目的達成のため、不断の努力をもって活動しているところである。

議会と市長は、ともに市民に対して直接に責任を負い、相互に抑制と均衡によっていずれかの独善と先行を防止する体制がとられているところである。

については、市長の施政遂行姿勢において、次のことについて強く求めるものである。

記

- 1 重要な施策等に関することは、行政組織を十分活用し職員の意見・助言を聴く機会を設けるなど、十分な議論、検討を行うこと。

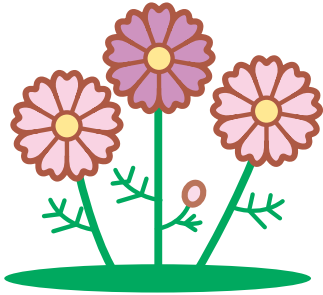
賛否が分かれた議案などの一覧表

議案番号・議案名	結果	福永桂子	菅沼淳	土屋和幸	高柳達弥	楠浩幸	佐原佳美	渡辺貢	吉田建二	加藤弘己	竹内祐子	荻野利明	豊田一仁	島田正次	馬場衛	牧野孝二	中村博行	神谷里枝	二橋益良	
議案第65号 平成27年度湖西市一般会計補正予算(第2号)	否決	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第70号 平成26年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第71号 平成26年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第79号 市長の施政遂行姿勢に関する決議案	可決	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	—
請願第1号 安全保障関連法案に対する慎重な審議を求める請願書	第1項 不採択	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	○	—
	第2項 不採択	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	○	—

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(二橋益良)は採決に加わらない。

そこが聞きたい!!

一般質問



一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今9月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。

湖西市公式サイト

市ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

<http://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市HP

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(USTREAMへ)

湖西市の最大の課題は何か

▶▶▶ 現在は防災・減災対策のまちづくりが最優先課題



▲防災・減災対策として設置された津波避難デッキ

●市長の仕事と市政運営に対する態度について

問

市長が考える湖西市の最大の課題は何か。その課題に対して国や県への働きかけをしているか。

答

就任直後は少子化対策としての子育て支援、この4年半は防災・減災対策のまちづくりを最優先課題として取り組んできた。県に対しては毎年、国に対しても国会議員の方々や他市の市長と一緒に何度も陳情を行っている。

●子育て支援に関する公約について

問

選挙の際の公約として唯一実行している「子育て支援手当」と「就園助成」の効果は。

答

毎年実施している市民意識調査の子育て施策の評価では、30歳代では約57%の方に「良い」と評価していただいている。また、手当の支給対象となる第2子・第3子が増えていることから、効果を上げていると考える。

その他の質問

●市民会館について



島田 正次

幼稚園や保育園でも情報端末のマナーやルールを教えるべき

▶▶▶ 望ましい生活について、保護者への啓発に努めたい

●子どものスマホ、PCなど情報端末の利用について

問

子どもを被害者にも加害者にもしないため、幼稚園・保育園でもマナーやルールを教える必要があると考えるが、現状はいかがか。

答

1日のテレビやゲームの利用時間について家庭でのルール作りを啓発している園もあるが、モバイル機器に特化したものはない。乳幼児が機器を利用しないことが本来であり、望ましい生活について保護者に伝えることに力を入れたいと考えている。

●市民会館耐震補強計画の見直しについて

問

ゼロベースで再考することであるが、今後の市民会館についての検討組織や公共施設マネジメント推進組織はどのように整備する考えか。

答

平成27年度中は関係課から5～6名を選抜し、今後のあり方を検討していきたい。公共施設全体のマネジメント推進組織は平成28年度に設置することを検討している。



加藤 弘己

こども園化の今後の進め方は

▶▶▶ 公立幼稚園と保育園を対象に検討する

●ひとが育つまち 子ども子育て支援事業における進捗確認

問 新居幼稚園をこども園にする計画が白紙となった。総括と今後の進め方について伺う。

答 入所待ちが多い0～2歳児のため、内山保育園を0～2歳児保育施設とし、3～5歳児は新居幼稚園に移っていただき、同年齢の幼稚園児とともに保育することも園にしようと考えた。今後も待機児童を発生させない取り組みとして提案したが、

すべての保護者からの理解が得られず白紙に戻すことにした。要因は、保護者への説明から判断までの期間が短かったことや移行後も新居幼稚園で同様の保育を行うイメージが理解されづらかったことなどが考えられる。今後も入所待ち児童の解消に向けて、公立幼稚園と保育園を対象にこども園化の検討などを行っていく。



楠 浩幸

市民会館耐震補強計画のこれまでの経費は無駄になったのではないかと

▶▶▶ 白紙に戻す方針を決定するために必要な経費であった



▲市民会館



菅沼 淳

●市民会館耐震補強計画の見直しについて

問 計画を白紙に戻したことで、これまでの経費は無駄になったのではないかと、この経費負担の責任は。

答 結果として計画を白紙に戻すことになったが、その方針を決定するためには必要な経費であったと考える。経費はこれまでに委託して行った業務について必要な経費として支出する。

問 平成25年に委託した耐震診断業務の診断結果は。またその後委託した市民会館補強に関する検討業務の内容は。

答 「耐震性能はかなり劣り、被害を防ぐためには相当な補強が必要である」という診断結果であった。検討業務の内容は、補強方法と、建築基準法・消防法に適合する補強の可能性の検討、第4次地震被害想定に基づいた市民会館周辺の液状化についての検討である。

市民会館のあり方を検討する組織の構想は

▶▶▶ 公共施設全体の再配置計画検討組織を平成28年4月を目標に設置する

●市民会館耐震補強計画の見直しについて

問 今後の市民会館のあり方などを検討する組織の構想について説明を。

答 公共施設等総合管理計画をつくり、それを基に公共施設全体の再配置計画を検討する組織を平成28年4月を目標に設置する。それまでは関係課の職員が現在の業務と兼務で市民会館の検討を行う。

●広報広聴活動の促進について

問 広報こさいに、市の施策や課題・取り組みなどをもっと積極的に取り上げたり、市長が自ら重要施策について記事を執筆するべきと考えるのがいかがか。

答 施策などを取り上げることは市の広報紙として非常に重要なことであり、今後も積極的に掲載していきたい。市長自ら記事を執筆するという点は、特集などに市長がコメントすることで記事に注目してもらえることを期待して、方法について検討したい。



吉田 建二

行財政改革についての市長の考えと手法は

▶▶▶ 事業の選択と集中を図りながら行財政改革を推進していく

● 行財政改革について

問 行財政改革についての市長の基本的な考えと具体的な手法は。

答 長期的収入増加策を考えると、何にお金を使い、どこをコストダウンするのかの決心のために、市民と行政が情報を共有し、事業の効率化や人件費の縮減などを推進することが行財政改革であると考えている。毎年度、行財政改革アクションプランと新・湖西市総合計画の実施計画の見直しを行い、行財政

改革審議会からの意見もいただき、事業の選択と集中を図りながら行財政改革を推進していく。

● 情報公開について

問 湖西市が、入札後の公開を一部黒塗りとする理由は。

答 設計価格のうち、見積りによる価格については、静岡県「見積徴収に関する取扱い」に基づき、一律非公開としている。



▲新・湖西市総合計画



竹内 祐子

海岸侵食に対する取り組み状況は

▶▶▶ 県・国へ事業推進、国庫補助事業の予算確保の要望を行っている



▲遠州灘

● 台風による海岸への排水路の詰まり対策について

問 海岸侵食に対する湖西市と遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会の取り組み状況は。

答 市は、遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会を通して県へ、遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会は、県や関係省庁へ、海岸侵食対策及び海岸保全対策や国庫補助事業の予算確保などの要望活動を行っている。

● 遊休農地対策と豊川用水二期事業について

問 地域の実情に応じた弾力的な農地転用の運用を行う考えは。

答 転用許可については、農地法等の法令の趣旨に基づき、公平・公正な審査をしているため、弾力的な取り扱いはできないが、農地所有者の意見も聞きながら、機会をとらえて国に対し基準の見直しを要望したい。



渡辺 貢

18・19歳の有権者への対策は

▶▶▶ 啓発宣伝に力を入れたい

● 18歳選挙権にあたっての対応は

問 18・19歳の有権者に投票所へ足を運んでもらうための対策は。

答 画期的なアイデアはまだ出ていないが、投票率低下を改善する大きなチャンスであると考え、県の選挙管理委員会とともに啓発宣伝に力を入れていきたい。また、提案制度の中で職員からのアイデアも募っている。

● コーちゃんバスについて

問 次回のダイヤ改正には、お年寄りの声を聴き、きめ細かな改正をする考えは。

答 湖西病院での利用者のアンケート調査や利用促進のための乗り方教室などでの要望に沿って、さらに利用しやすくなるようコースやバス停位置について毎年見直しを行っている。



▲明るい選挙キャラクター「選挙のめいすいくん」



荻野 利明

その他の質問 ● 「脱原発」の市長公約について ● 安全保障関連法案について

早急なはしご車の設置と稼働人員について

▶▶▶ 車両の選定、配置場所及び人員を含めた運用方法を検討している

● 消防設備や各課人員の事前の充実について

問 早急なはしご車の設置と稼働人員の確保を。

答 これまで使用してきたはしご車は、安全基準に規定された使用期限を超えているため運用を停止しているが、中高層建物及び密集地火災などにおける消火・救出活動を行う上で必要な車両であるため、早期の導入に向け、車両の選定、配置場所及び人員を含めた運用方法を検討している。

● 道及び隣接する土地(市有地)の草刈りについて

問 市道の草刈りは市で対応できないか。

答 市道の草刈りについては、市が定期的に行っている箇所のほかは、地域の方をお願いしている。本来、道路管理者である市が行うものと認識しているが、市道のすべてを市が対応するのは困難であるため、今後も地域の方に協力をお願いしたい。ただし、作業が困難な場合は、申し出の上で、計画的に作業区域を定め、市で対応する。



牧野 考二

「湖西版ネウボラ」を実施する意向は

▶▶▶ 相談体制を充実させた「湖西版ネウボラ」に取り組んでいく

● 子育て世代包括支援センター(湖西版ネウボラ)開設の意向について



問 「子育て世代包括支援センター」を設置し、「湖西版ネウボラ」を実施する意向はないか。

答 「子育て世代包括支援センター」設置は、昨年度に厚生労働省のモデル事業として取り組んだ自治体を参考にしたいと考える。妊娠から育児までの切れ目のない相談・支援体制の充実が必要と考えているので、まずは就園前までの相談体制を充実させた「湖西版ネウボラ」を、子育て支援センターとおぼとで実施していく。

【ネウボラとは】

フィンランドで実施されている子育て支援制度のこと。妊娠、出産から就学前までの育児を切れ目なく継続的に支援するのが特長。

「ネウボラ(neuvola)」とは、フィンランド語で「助言の場」という意味。

その他の質問

- 地域包括ケアシステム構築に向け、社会福祉協議会の担う分野について



佐原 佳美

湖西市の若年女性人口が、将来大きく減少すると推計された原因は

▶▶▶ ここ数年の傾向による推計であり、大きくは減少しないと考える

● 湖西市の人口ビジョンについて

問 「ストップ少子化・地方元気戦略」では、湖西市の若年女性人口が2010年の7,020人から2040年には3,968人に減少するとされている。その原因をどのように考えているか。

答 同戦略の若年女性の将来人口は、ここ数年の傾向による人口推計であると思われるので、そこまで減少することはないと考える。本市は交通の便や気候に恵まれ、働く場所も多いため、有効な施策の展開により若い女性にとっても魅力的なまちになる要素はあると考える。

問 今後どのような少子化対策を打ち出し、人口ビジョンを核とした地方版総合戦略を策定しようとしているか。

答 本市の総合戦略は「安定した雇用の創出」「地方への新しいひとの流れを作る」など4つの基本目標に沿って策定していく予定であり、現在、基礎資料となる人口ビジョンの作成を進めている。若者へアンケートを実施し、その分析結果から少子化対策について研究していく考えである。



福永 桂子

旧環境センターを解体する意志があるのか

▶▶▶ 解体したいと考えるが、時期を示すことはできない

●旧環境センター建物の解体について

問

旧環境センターが廃炉になって17年が経過したが、現在もそのままの状況である。市はこの施設を本気で解体する意志はあるのか。また、意志があるのならそれはいつになるのか伺う。

答

市内には役目を終え、利用していない施設として旧環境センターと新居焼却場がある。旧環境センターは建物も古く再利用もできないため、できるだけ

早く解体撤去したいとは考えている。新居焼却場は防災拠点として利用する構想もあり、焼却炉の解体撤去設計は行っているが財政的な制約から事業着手に至っていない。

旧環境センターの解体撤去は、事業の優先順位や財政的な制限などを考慮する中で、新居焼却場の再利用を進めた後に考えることとしているため、現時点では明確な解体時期を示すことができない。



▲旧環境センター

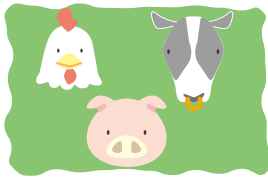


土屋 和幸

畜産業への振興策は

▶▶▶ 事業への補助やイベントでのPR活動を行っている

●湖西市の畜産業の現状と振興策について



問

市内の畜産業への振興策について伺う。

答

畜産環境衛生対策協議会を通して畜産臭気対策事業や死亡獣の運搬処理に対する補助を実施している。また、緑花フェアでの堆肥の配布、健康まつりへの豚肉の提供などイベントを活用した畜産業のPR活動を行っている。今後はTPPの動向を注視しながら事業者と一緒に振興策を協議していきたい。



高柳 達弥

●「コーちゃんバス」の運行状況と改善状況等について

問

持続可能な公共交通ネットワークを再構築していくことは地域の活力を高めることになるが、今後どのように取り組んでいくのか。

答

国はまちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築を求めている。本市の地域公共交通総合連携計画は平成28年度までとなっていることから、湖西市地域公共交通会議においてまちづくりと連携した次期計画を作成していく予定である。

常任委員会活動報告

湖西市の事業などの調査や先進市の事例について研究し、検討した各常任委員会の施策事項を、平成28年度の行政の施策として反映していただくよう市長へ要望しました。

各委員会の要望事項(抜粋)

◆総務経済委員会

- ・防災対策に関し、静岡モデルの着実な進捗について
- ・男女共同参画の推進について
- ・企業誘致活動の強化と用地の確保について

◆福祉教育委員会

- ・市民会館の早期方針決定について
- ・在宅医療と介護の連携の推進について
- ・子ども・子育て支援事業の推進について

◆建設環境委員会

- ・市街化調整区域における地区計画の推進、人口減少抑制のためのPRについて
- ・臭気・汚水対策の積極的推進について
- ・公共下水道計画の全面的な再検証について



▲要望事項について市長をはじめ幹部職員へ説明

市議会からのお知らせ

季節のひとこま

9月27日/
こさい秋の環境・緑花フェア
(市役所)



● 12月定例会の予定 ●

11月24日(火) 10:00～	本会議第1日
12月 1日(火) 10:00～	本会議第2日(一般質問)
12月 2日(水) 10:00～	本会議第3日(一般質問)
12月 3日(木) 10:00～	本会議第4日(一般質問)
12月 8日(火) 10:00～	本会議第5日
12月 9日(水) 10:00～	総務経済委員会
12月10日(木) 10:00～	福祉教育委員会
12月11日(金) 10:00～	建設環境委員会
12月16日(水) 10:00～	本会議第6日



予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

………議会傍聴に来ませんか?………

注目

- どなたでも傍聴できます。
- 当日、市役所3階議会事務局へお越しください。
- 予定が変わることもあります。事前に議会事務局(TEL.053-576-4791)へお気軽にお問い合わせください。

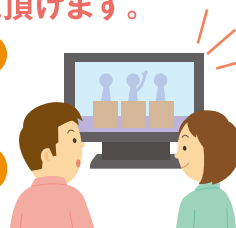
傍聴にこられない方も市議会の様子をご覧頂けます。

▶ 浜松ケーブルテレビ チャンネル・ウィンディ

本会議の一般質問が、浜松ケーブルテレビ「チャンネル・ウィンディ」で放映されます。

▶ 湖西市ウェブサイト インターネット放送

本会議のインターネット放送(生中継・録画)を市のウェブサイトからご覧になれます。



…市民の皆様の声をお寄せください…

議会運営に役立てるため、議会に対する意見、傍聴や議会だよりの感想などについてのお便りをお寄せください。郵送・ファックス・Eメールで受付しています。なお、内容により、議会だよりに掲載する場合がありますのでご了承ください。

規定

- ▶ 住所、氏名、電話番号を明記してください。
- ▶ 議会だよりへの掲載を希望しない方は、その旨をご記入ください。
- ▶ 議会だより掲載時に趣旨を変えず直すことがあります。
- ▶ お便りの返却はいたしません。

あて先

湖西市議会 議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791/FAX.053-576-0331
E-mail▶ gikai@city.kosai.shizuoka.jp

編集後記

太鼓の音色も消え、秋の深まりを感じる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしですか。この夏は猛暑日が続き、その後は台風による豪雨被害・土砂災害と、地球温暖化の影響でしょうか、日ごろの備えが大切と改めて感じました。

さて、今回の9月定例会号には平成26年度会計決算や市民会館に関する一般質問、また補正予算の取り扱いについての審議内容や議決状況などを掲載しました。ご覧いただき、ご意見ご感想をお寄せください。

これからも、議会の活動状況を分かりやすく、読みやすい議会だよりとなるよう、研究改善に努めてまいりますのでよろしくお祈りします。(高柳 達弥)

編集委員

(◎は委員長、○は副委員長)

- ◎二橋 益良 ○加藤 弘己
- 福永 桂子 菅沼 淳
- 土屋 和幸 高柳 達弥
- 佐原 佳美 神谷 里枝

今回は

1月31日発行予定です

